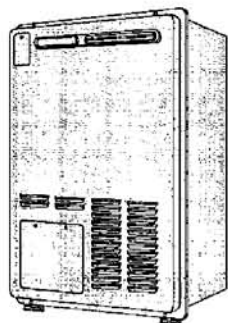


ガス給湯暖房機

取扱説明書

品名	型式名	機能	設置方式
AT-368RSA-SWQ	44-645型	AT-368RSA-SWQ	2温度タイプ 屋外式
AT-368RSA ₂ -SWQ	44-646型	AT-368RSA-SWQ-F	
AT-368RSA ₁ -SWQ	44-647型	AT-368RSA-SWQ-G	
AT-368RSA-SW ₂ Q	—	AT-368RSA-SW ₂ Q	
AT-368RSA ₁ -SW ₂ Q	—	AT-368RSA-SW ₂ Q-G	



アフターサービスについて

- 別添の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

- まず27～30ページの「故障かな?」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印)
 2. 品名……………ガス給湯暖房機
品番または機器コード…正面右上部または右下部に表示してあります。
 3. お買い上げ日
 4. 故障または異常の内容(エラーコードなどできるだけ詳しく)
 5. 訪問ご希望日

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

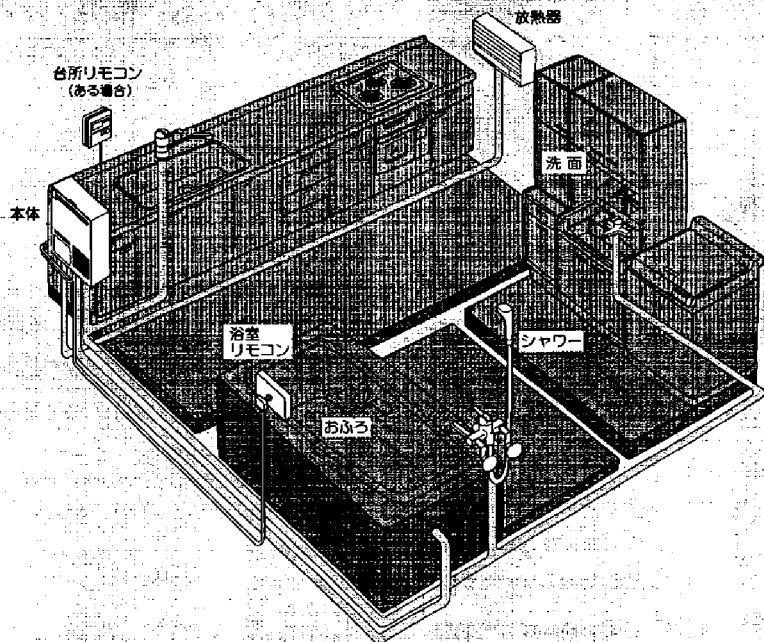
- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整の必要があります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

- 保守契約制度(有料)に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。

給湯・ふろ・暖房が同時に使える 独立運転!

- 適温・適量のお湯が完了すると自動消火するふろ自動運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。



●本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- 来客者などが熱源機を使用される場合は、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にて再購入してください。

もくじ

必ずご確認ください

	ページ
●安全上のご注意	4
●使用上のお願い	11

必ず

使いかた

	ページ
●早見表	12
●初めてお使いになる時	14
●お湯の出しかた	16
●お湯はりのしかた	18
●お湯はり予約のしかた	20
●お風呂の湯かけん調剤	22
●シャワーの使いかた	23
●暖房のしかた	24
●日常の点検とお手入れ	25

すぐ

必要なときにお読みください

	ページ
●故障かな?	27
●こんなときは	30
●凍結予防について	31
●各部のなまえ	35
●仕様	38
●アフターサービスについて	裏表紙

もし

必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「危害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

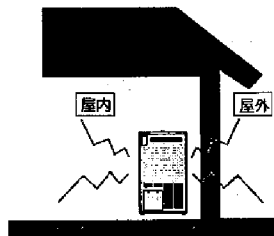
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
!	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

設置工事時の注意

■屋内に設置しない



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

ガス漏れ時の注意

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社へ連絡する



ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする



もよりのガス会社に連絡する



そのままにしておく、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたら電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

⚠ 警告

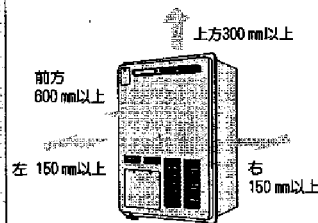
■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする



(旅行など、長時間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう
(p.32, 33ページ参照))

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

必ず
お守りください

安全上のご注意

必ずお守りください

給湯・シャワー使用時の注意

■シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める



水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

■混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位まで回す



途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

■混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります

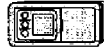


やけど注意

急に熱い湯が出る場合があります。

●配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたりスイッチ「切」にされると冷水になりびくつきでけがの原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に機器が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

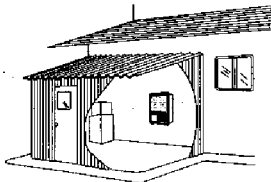


製造年月(例 ○年×月製)を示します。



他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない(波板などにより囲いをしない)



十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

警告

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

■濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く



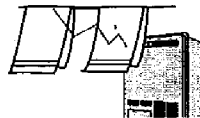
コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

■スプレー缶を給排気口(トップ)の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■給排気口(トップ)をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

必ず

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

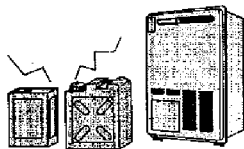
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴槽の循環口付近に潜ったりしない



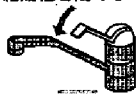
思わぬ事故の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

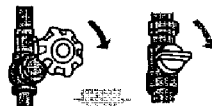
■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う
給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する



そのままにしておくこと火災の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない(フロントカバーを外さない)



分解禁止

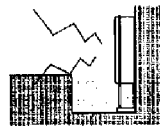


熱源機故障や火災の原因となります。

●販売店に依頼してください。

注意

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない(据置設置の場合)



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

●販売店にご相談ください。

■点検・お手入れ時は、次の手順に従う



給水元栓・ガス栓を閉める



電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう
(⇒25・26ページ)

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

■給湯・シャワー・お湯はり・追いだし・温水暖房・浴室乾燥用として使用する



他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■凍結後再使用する際は、全ての給湯性から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する



水漏れによる床や壁などの損害は、お客様の御負担となります。

■熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない



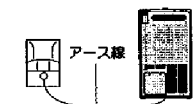
健康を損なう恐れがあります。(雑用水としてお使いください。)

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確かめる



熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■アース接続されていることを確認する



高電圧が生じた場合、感電の原因となります。

●アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

必ず

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない



接触禁止



やけどの原因となります。

■熱源機の上につったり、物をのせたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない



やけどや熱源機故障の原因となります。

■ソーラーシステム(太陽熱温水)に接続しない



高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

■床暖房の上に電気カーベットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーベット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

■パネルヒーターの表面は触らない
(パネルヒーター使用の場合)



やけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間すわったり寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

使用上のお願い

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

■混合水栓を使用する場合ときどき水だけを流す、またサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3~5℃)にする

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯(赤水など)が出る場合があります。

■硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。

■この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

■断水のときは、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのまましておくで熱源機故障の原因となります。

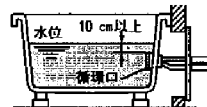
■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

■テレビやラジオとは1.5 m以上離す

上記の距離を保たないと雑音の原因となります。

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



機器故障の原因となります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの(瞬間沸湯器用混合水栓)を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

■停電のときは、給湯栓を閉める

燃焼が停止し、水になります。

■使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

■24時間風呂には、使用しない

24時間風呂への対応はしていません。

必ず
お守りください

早見表

浴室リモコン



お湯を出す・・・P16

台所リモコン
(ある場合)



1 押す

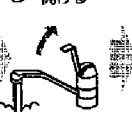


優先表示の確認

2 給湯温度を設定する



3 給湯栓を開ける



4 給湯栓を閉める



浴室リモコン



お風呂にお湯をはる・・・P18

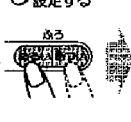
1 押す



2 ふろ湯量を設定する



3 ふろ温度を設定する



設定した湯量・温度をお湯はりすると止まり、その後4時間保温を続けます。

台所リモコン
(ある場合)



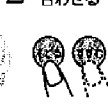
好みの時間にお湯をはる・・・P20

①

1 押す



2 現在時刻を合わせる



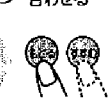
3 押す



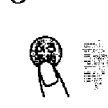
4 押す



5 予約時刻を合わせる



6 押す



予約時間にお湯はりが終わると運転を停止します。(ブザーが鳴ります。)

お湯はりが終わると運転を停止します。(ブザーが鳴ります。)

(P15)

(P20)

浴室リモコン



お風呂から呼ぶ

1 押す



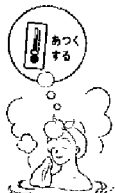
台所リモコン・浴室リモコン両方でブザーが鳴ります。

浴室リモコン

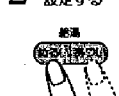


お風呂を熱くする・・・P22

1 押す



2 ふろ温度を設定する



浴室リモコン



お風呂をぬるくする・・・P22

1 押す



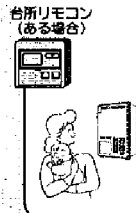
約10Lの水を足すと止まります。

浴室リモコン

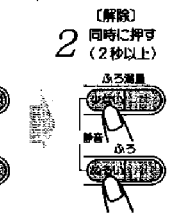


暖房の運転音を下げる・・・P24

1 [セット] 同時に押す (2秒以上)

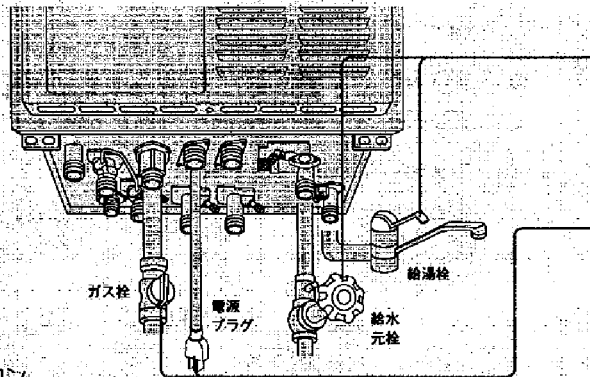


2 [解除] 同時に押す (2秒以上)

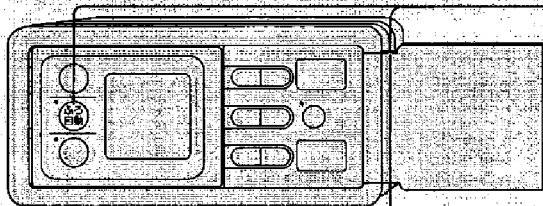


初めてお使いになるとき

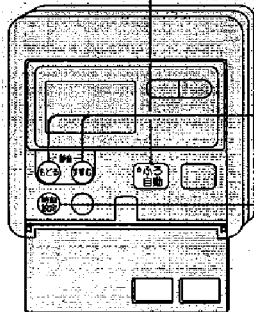
本体



浴室リモコン

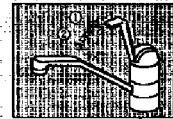
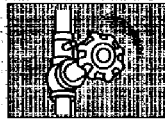


台所リモコン
(台所リモコンがある場合)



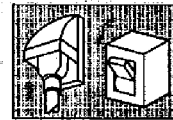
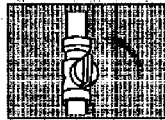
※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

1 ■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける
①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

3 ■ お風呂の湯が出ることを確かめる

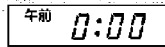


「ふろ自動」スイッチ
を押す
①浴そうに湯の出ることを確かめ、
②再度「ふろ自動」を押し、
湯を止める。

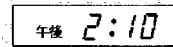
4 ■ 現在時刻を合わせる (台所リモコンがある場合)



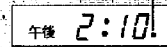
押す
「午前 0:00」が点滅。



「時」「分」を合わせる
例 午後 2時10分に合わせる。



押す
「●」が点滅。

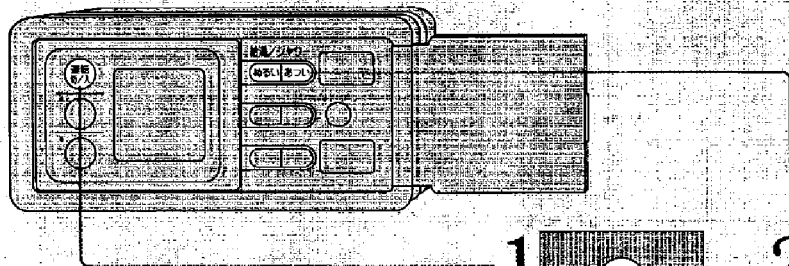


スイッチは、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると
10分ずつ変わります。

すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた (台所・洗面所)

浴室リモコン



押す

- 画面が表示していることを確かめる。
- 優先表示が点灯していることを確かめる。



温度を設定する

- お湯の温度は約38～47℃の間と約60℃で設定できます。



給湯栓を開ける

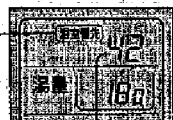
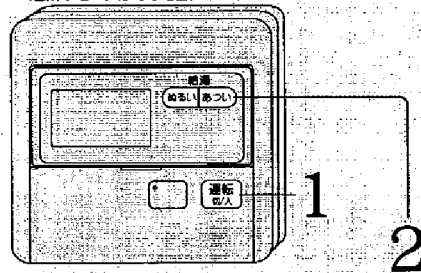
- 「」が点灯。



給湯栓を閉める

- 「」が消灯。

台所リモコン
(台所リモコンがある場合)



優先表示
前回の給湯温度
(←17ページ)



給湯継続表示

■ 2回目以降は

- 前回と同じ温度の湯が出ます。



- お湯はり中、給湯すると →おふろと同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞らずに →熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 運転スイッチ「切」の状態でも約10Wの電力を消費しています。
- 再度お湯を使用すると →お湯の量が変化することがあります。

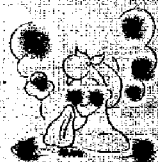
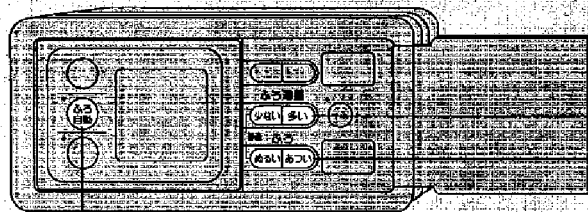


優先について (台所リモコンがある場合)

- 優先表示の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。
- 優先表示が消えているときは →浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは →押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

お湯はりのしかた

浴室リモコン



準備: ①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしてお
いてください。

1



押す

- ランプが点灯。
- 設定した湯量・温度になると自動的に消火しブザーでお知らせします。

2



ふろ湯量を設定する

- 40~300L(20L間隔)・400・500Lの16段階で設定できます。

3



温度を設定する

- 約35℃~60℃の間で設定できます。

4

お湯はりが終わると
4時間保温を
続けます

- ランプ・保温・点灯

■ 沸かし直し

〈浴そうに残り湯が循環口より上まであるとき〉

- 同じ手順で設定した湯量・温度に沸きあげます。ただし湯量、湯温に多少のばらつきが出ます。また、沸きあげに多少時間がかかります。

〈浴そうに残り湯が循環口より下にあるとき〉

- お湯があふれる場合があります。設定湯量を少なくしてお湯はりしてください。

※ 次の場合には設定した湯量にならないことがあります

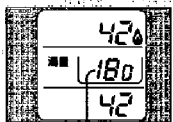
- 残り湯の温度が高い場合
- ふろ自動運転中に、お湯はり温度を変更した場合

■ 台所リモコンでもお湯はりできます。(台所リモコンがある場合)

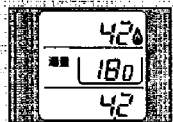
- 台所リモコンの「ふろ自動」を押す。(浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。)

■途中で止めるとき

- 再度「ふろ自動」を押す。(ランプ・保温・点灯)



湯量表示



ふろ温度表示



保温表示

すぐ
使いたいとき



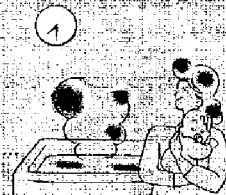
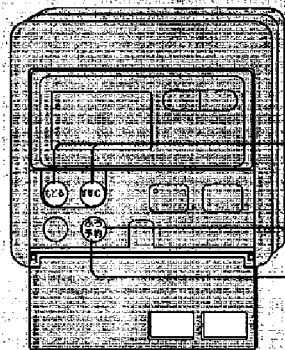
- お湯はり中は →リモコンの優先表示は消えます。
- お湯はり中は →水や空気が出る音が出ることがあります。異常ではありません。
- 洗い浴そうのとき →湯量を多くするとあふれることがあります。
- 足し湯するとき →ふろ自動スイッチを押して、適量で止めてください。(約10Lで自動停止します。)



- お湯はり中に給湯栓を開けると →給湯温度はお湯はりの温度と同じになります。
- 給湯使用中にふろ自動スイッチを「入」にする →お湯はりは待機します。
- 保温中は、約30分ごとに湯温を検知します。

お湯はり予約のしかた

台所リモコン（台所リモコンがある場合）



押す



予約時刻を合わせる



押す

4 ほぼ予約時刻にお湯はり完了し、ブザーでお知らせします。

- 準備：①お風呂の排水栓を閉じ、②浴そうのふたをして、
 ③現在時刻を合わせ（※15ページ）
 ④浴室リモコンでお湯の湯量、お湯の温度を設定しておいてください。
 （※18、19ページ）



点滅 点滅



点滅

- 例、午後7時30分 のとき



点灯

- 予約時刻が記憶され、約2秒後、現在時刻に戻ります。

■取り消すとき

→再度 を押す。

（予約）が消灯。



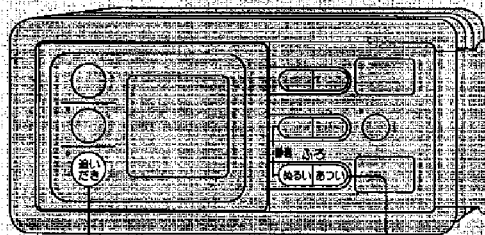
- お湯はり予約の待機中（お湯はり開始するまで）はお風呂自動・追いだき・ぬるめスイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示は消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温はしません。



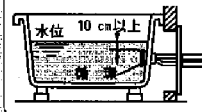
- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
 → を2回押して予約時刻を確認し、再度 を1回押す。
- お湯はり予約をしていない時に予約時刻を確認するとき
 → を1回押して予約時刻を確認し、再度 を2回押す。
- 2回目以降は → 手順1と3のみで予約できます。

すぐ
使いたいとき

おふろの湯かげん調節



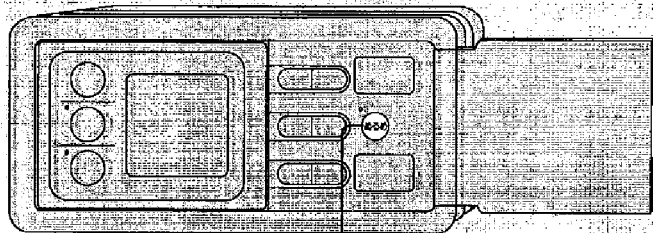
浴そつの箱端口より10 cm以上
水が入っていることを確認する。



1 押す (ランプ点灯)
→設定温度より2℃高くなる
自動的に消火します。

2 (温度を変更したいとき)
温度を設定する

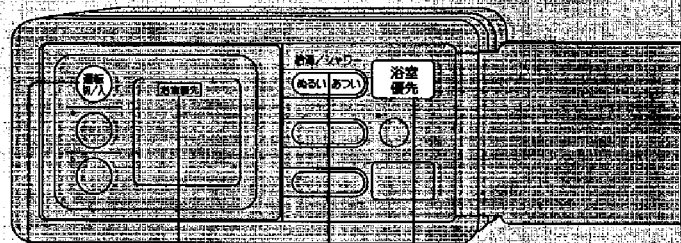
■途中で消火したいとき
→再度 **ON/OFF** を押す。



1 押す (ランプ点灯)
→約10 L水を足し、一旦燃焼して止まります。
(一旦燃焼するのは、機体内の湯温を保つためです。)

■途中で止めるとき →再度 **ON/OFF** を押す。

シャワーの使いかた



1 押す
(画面が表示している
ことを確かめる。)

2 押す
(浴室優先：点灯を確認)

3 温度を
設定する

お知らせ 優先について

優先表示のついている方のリモコンのみ、
給湯/シャワー温度を設定できます。

- 優先表示が消えているときは
→浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは
→押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リ
モコンへ交互に移動します。

4 給湯栓を
開ける



お知らせ

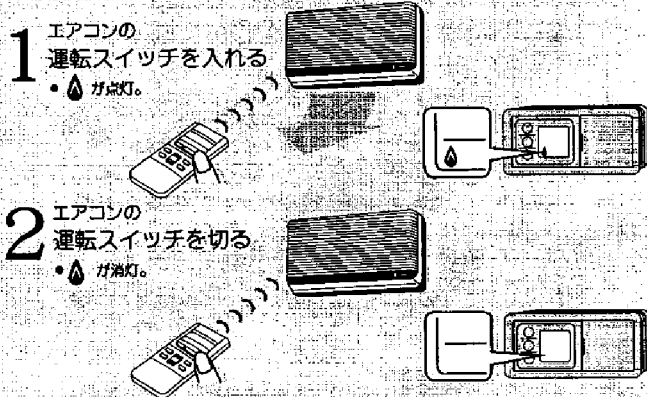
- お湯はり中、給湯すると →おふろと同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞りますと →熱いお湯が出たり、消火することがあります。

暖房のしかた

エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

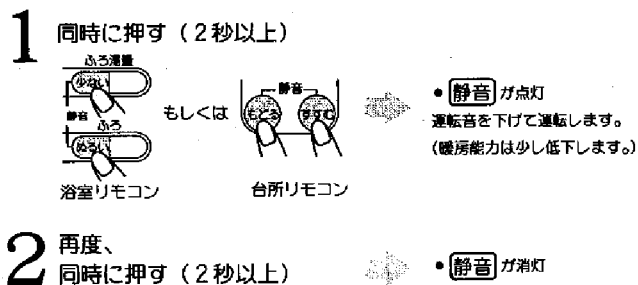
リモコンの使い方

●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。



【お知らせ】暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

暖房中の運転音が気になるとき…



日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて(ブレーカを「切」にして) 熱源機が冷えてから行なってください。(定期的に行なってください)

給水元栓の点検

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



ガスコンロの点検

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



浴そう・洗面台の点検

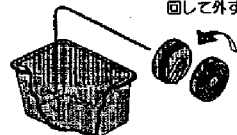
浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して青く変色することがあります。

浴そうフィルター

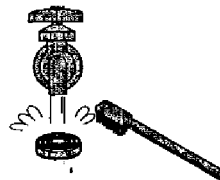
ゴミや湯あかなどをそのままにしておくと目詰まりを起こし機器の異常の原因となります。

【目詰まりがひどくなると、お湯はりができなくなる場合があります。】

1 浴そうフィルターを外す
回して外す



2 歯ブラシなどで洗う

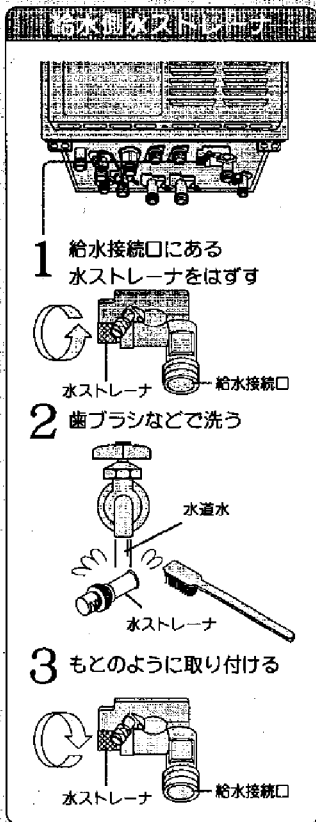


3 もとのように取り付ける

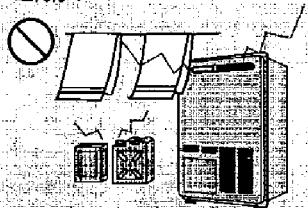


すぐ
使いたいとき

日常の点検とお手入れ



- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを書きつけていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

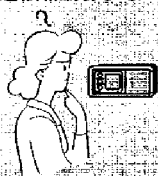
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が染みはることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気が不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状

運転（燃焼）しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていませんか。ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。（※34ページ）
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。→ 点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていませんか。（※26ページ）
- ガスメータに異常はありませんか。（マイコンメータをお使いの場合マイコンメータのランプが点滅していませんか。）

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量（混合水栓）の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていませんか。（※26ページ）

リモコンの優先表示が点灯しない

（台所リモコンがある場合）

- 浴室リモコンの優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。（※17・23ページ）

お風呂へのお湯はり量・温度が大きくばらつく

- 浴そうフィルターが目詰まりしていませんか。（※25ページ）

すぐ
使えないとき

もし
必要なとき

故障かな!?

● 次のような場合は故障ではありません。

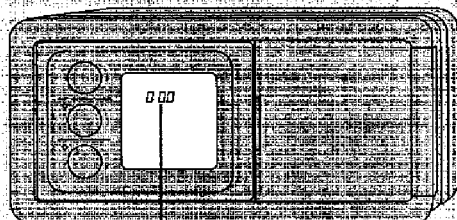
寒い日に排気口から 濃煙がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの 回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が 白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
お湯はりしていないのに 循環口から水が出る	お湯はりしていないときに、給湯栓の閉閉をひんばんに繰り返すと、循環口より水が出る場合がありますが異常ではありません。
給湯栓を扉に閉めると ゴツンと音がすることが ある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
暖房中、 ガ ついたり 消えたりする	お部屋の温度に応じて ガ ついたり消えたりします。
冬期、暖房を使ってい ないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
暖房を使っていないのに ポンプ音がする	暖房回路にたまったエアを排出するための音であり異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

1 給湯バーナーの炎が消えた場合	給湯立消え安全装置
2 暖房バーナーの炎が消えた場合	暖房立消え安全装置
3 暖房回路の水が極端に減った場合	空だき防止装置(暖房)
4 空だきした場合	空だき安全装置(給湯・暖房)
5 熱源機の温度が異常に上昇した場合	過熱防止装置
6 電気回路に漏電が生じた場合	漏電安全装置
7 過電流が流れた場合	電流ヒューズ
8 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合	過圧防止安全装置

上記1~7の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。



エラーコード

エラーコードについて
不具合が生じたとき、その原因とコ
ラーコードでお知らせします。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを押しなおしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。(暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。)
723	暖房側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
632	追いだし時浴そうの循環口より約10cm以上水が、入っていないため。	浴そうの循環口より約10cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、お風呂の浴そうの栓をしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、浴そうの栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房・お湯はり・追いだし運転しただため。	すべての水抜き栓が「閉」、補給水バルブが「開」(※35ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
000 リモコン エラー がある 場合	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。
101	燃焼に異常がおきたため。	能力の低下した状態で使用できますが、安全のため必ず点検を受けてください。(有料)
991		ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡してください。

上記以外の表示が出る場合は、運転スイッチを一旦「切」にして再操作してください。

もし
必要なとき

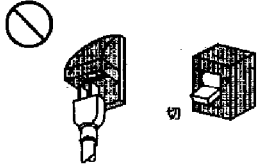
こんなときは

給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通水後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒18ページ)によりご使用ください。
ふろ・湯はり	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈ふろ自動スイッチを「切」にしてください。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後18ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈ふろ自動スイッチを「切」にしてください。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●供給再開後 ●使いかた(⇒18ページ)によりご使用ください。
ふろ 追いだき	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒22ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈追いだきスイッチを「切」にしてください。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後22ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈追いだきスイッチを「切」にしてください。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●供給再開後 ●使いかた(⇒22ページ)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。</p> <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒24ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、正常運転します。 <p>●エラーコード640が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(⇒28ページ)により再操作をしてください。</p>	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。</p> <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(⇒24ページ)によりご使用ください。

凍結予防について




給湯・ふろ側

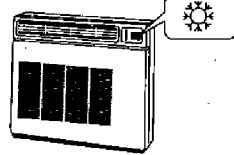
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



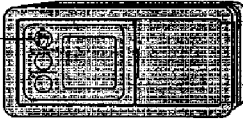
絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

暖房側

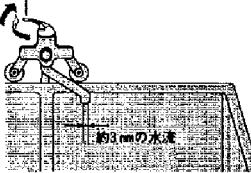
- 外気温が0℃近くになると自動的に凍結予防運転します。(リモコンの暖房燃焼表示「」が点灯)
- さらに寒さが厳しいときは「」のある放熱器は運転スイッチを「」にする。



給湯側



- 1 運転スイッチを切る
- 2 給湯栓を開け、水を出しつづける



※浴そうに水はためないでください。
※電源を「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

ふろ・暖房側

左記の説明と同じです。

もし
必要なとき

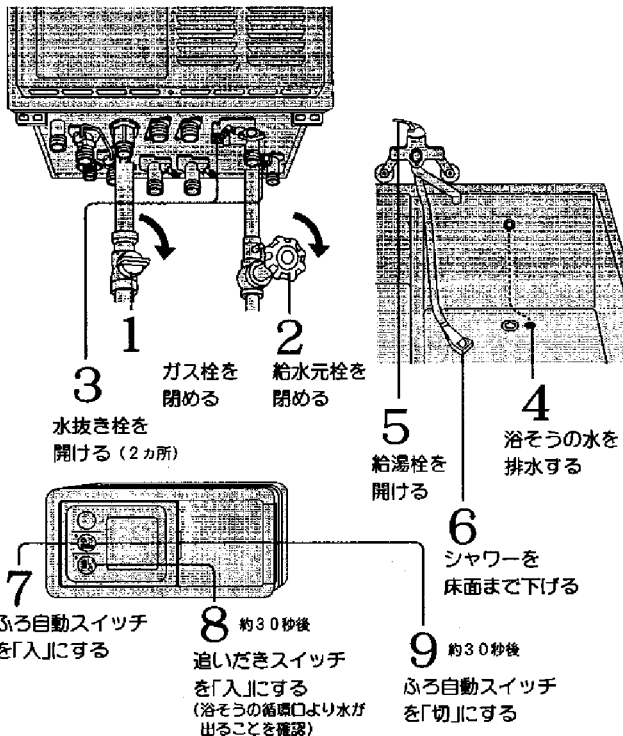
凍結予防について

水抜きをする

(旅行など、長期不在のとき)

給湯・ふろ側

※配管・バルブの凍結予防はできません。
 ※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。
 ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。



※7,8を2~3回くり返す。 ※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

水抜きをする

(旅行など、長期不在のとき)

暖房側

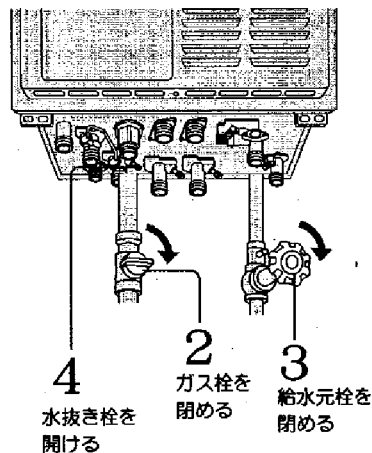
※不凍液の有無を確認してください。
 ※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
 ※配管・バルブの凍結予防はできません。
 ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕 ❶ 水抜きの必要はありません。

〔不凍液が入っていない場合〕 ❷ 水抜きをしてください。

※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
 ※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または プレーカを「切」にする

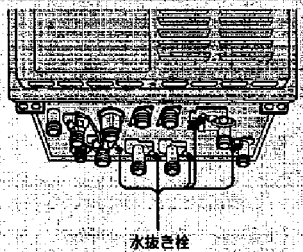


※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

もし
必要なとき

凍結予防について

水抜き栓の操作手順の図解



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は4ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

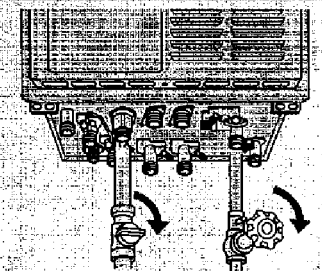
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

ガス栓と給水元栓の操作手順の図解



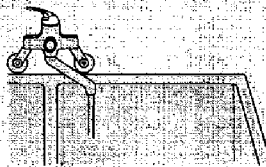
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

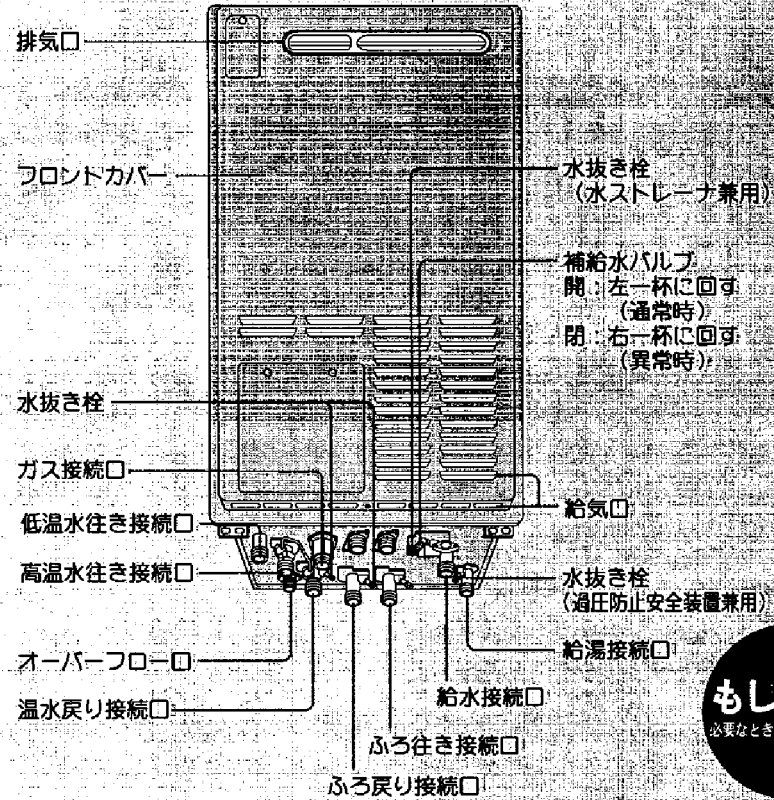
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



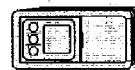
●凍結による修理は有料です。

各部のなまえ 本体

※イラストはAT-368RSA-SWQの構造で説明してあります。



もし
必要とき



浴室リモコン



台所リモコン (ある場合)

仕様

機種名		ガス給湯暖房機	
型式	名	AT-368RSA-SWQ	AT-368RSA-SW6Q
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
	給排気方式	強制換気方式	強制排気方式
設置	方式	屋外設置方式	
着火方式	給湯暖房機	ダイレクト着火	
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅480×奥行250	
	浴室リモコン	高さ98×幅108×奥行20	
質量 (kg)	本体	48	
	浴室リモコン	0.3	
水圧 (kPa)	使用水圧	100 (1kg/cm ²)以上	
	動作水圧	15 (0.15kg/cm ²)	
最低動作水量 (L/分)	給湯	2.8	
	暖房	0以上 (継切り使用可)	
ポンプ機外接続	給湯	約3.0	
	暖房	約3.0	
遠隔制御方式	給湯	41.2/49.0kPa (4.2/5.0mH ₂ O) : 50L/分のとき	
	暖房	高圧約2kPa (40mH ₂ O) / 低圧約3kPa (6.5mH ₂ O) : 10.0L/分のとき	
温度設定 (°C)	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
給湯量制御方式	給湯	約38~約47 (1°C間隔) 約50	
	暖房	約35~約60 (1°C間隔)	
安全装置	給湯	約38~約47 (1°C間隔) 約60	
	暖房	高圧:約80 低圧:約60 (55.65.70°Cに切換可)	
消費電力 (60/60Hz) (W)	運転時	/310	
	運転停止時	10	
接続	運転時	/260	
	運転時	/260	
	給湯	R $\frac{3}{4}$ オネジ (20A)	
	給水	R $\frac{3}{4}$ オネジ (20A)	
	高圧	G $\frac{3}{4}$ (20A)	
	低圧	G $\frac{3}{4}$ (20A)	
戻	G $\frac{3}{4}$ (20A)		
オーバーフロー	R $\frac{1}{2}$ オネジ (15A)		
電	R $\frac{1}{2}$ オネジ		
電	本体電源 AC100V 50/60Hz 3心 (うち1心アース用)		
B	L	品番 AT-368RSA-SWQ AT-368RSA-SW6Q	

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)				標準出力 kW (kcal/h)			
	全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時			
最大		最小	給湯		追いだし	暖房		
都市ガス用	13A	69.5 (59 800)	52.3 (45 000)	5.70 (4 900)	17.4 (15 000)	41.9 (36 000) [24号]	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
	12A	64.7 (55 600)	48.7 (41 850)	5.35 (4 600)	16.3 (14 000)	38.8 (33 400) [22.3号]	8.72 (7 500)	12.9 (11 100)
LPGガス用		66.5 (4.76 kg/h)	51.1 (3.66 kg/h)	5.74 (0.41 kg/h)	16.7 (1.19 kg/h)	41.9 (36 000) [24号]	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
		都市ガス用13A・LPGガス			都市ガス用12A			
出湯能力 L/分		水温+25℃上昇 [24.0]			[22.3]			
(水圧:100kPa(1kg/cm ²))		水温+40℃上昇 15.0			13.9			

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

もし
必要なとき

お客様へのご案内

この度は、大阪ガスのガス給湯暖房機をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取扱説明書に記載の型式名と、大阪ガスの機器コードの対照について下表の通りご案内申し上げます。

大阪ガス機器コード	型式名	機能	設置方式
44-645型	AT-368RSA-SWQ	2温度タイプ	屋外式
44-646型	AT-368RSA-SWQ-F		
44-647型	AT-368RSA-SWQ-G		

お客様からの販売店または大阪ガスへの、この機器についてのお問い合わせは、大阪ガスの機器コードをご連絡いただきますようお願いいたします。

(添付の保証書および機器本体上部または下部に、大阪ガスの機器コードを明示いたしております。)

お客様には、大阪ガスの給湯暖房システムを快適に、末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

 **大阪ガス**

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 大阪 06(688)1122
 南部事業本部 〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
 和歌山支社 〒640-8033 和歌山市本町1-6 電話 和歌山 0734(31)2481
 北東部事業本部 〒578-0925 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(82)1131
 北部事業所 〒569-0025 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0724(71)0361
 奈良支社 〒631-0038 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
 兵庫事業本部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
 姫路支社 〒670-0836 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221
 豊岡支社 〒668-0047 豊岡市三坂町6-5-7 電話 豊岡 0796(23)2221
 京滋事業本部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町1 電話 京都 075(311)7381
 滋賀支社 〒626-0037 草津市西大路町5-3-4 電話 草津 077(502)5311
 滋賀東支社 〒522-0074 彦根市大東町12-1-11 電話 彦根 0746(22)3131
 長浜営業センター 〒526-0058 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(82)7171
 本社 〒641-0048 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社